平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場会社名　アイサンテクノロジー株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4667　URL http://www.aisantec.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 柳澤　哲二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務統括本部長　(氏名) 加藤　淳　TEL 052-950-7500

四半期報告書提出予定日　平成27年11月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,058	△0.1	53	△24.7	52	△24.4	29	△41.2
27年3月期第2四半期	1,058	19.3	71	8.3	69	8.5	50	△10.7

(注)包括利益　28年3月期第2四半期　31百万円　(△40.7%)　27年3月期第2四半期　52百万円　(△5.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	6.49	―
27年3月期第2四半期	11.04	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,489	1,537	61.5
27年3月期	2,986	1,543	51.5

(参考)自己資本　28年3月期第2四半期　1,532百万円　27年3月期　1,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	―	0.00	―	8.00	8.00
28年3月期	―	0.00			
28年3月期(予想)			―	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	6.2	285	1.1	280	0.2	185	△16.3	40.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	4,699,600 株	27年3月期	4,699,600 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	92,579 株	27年3月期	92,579 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	4,607,021 株	27年3月期2Q	4,607,024 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びそのご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、新興国の海外経済の不透明感に起因し、上昇基調にあった株価の下落や名目賃金の伸び悩みによる個人消費が低調であるなど、景気は足踏み状態と言える状況にありました。

当社グループの主力市場であります測量市場におきましては、当事業年度開始直後に統一地方選挙が実施されたこともあり、自治体の主導する各種事業における予算執行が停滞し、その結果公共事業請負金額が前年を下回るなどの影響から、設備投資意欲が喚起されない状況にありましたが、第１四半期末頃から徐々に、最新の計測機器を中心としたソリューションへの投資回復傾向の流れがうかがえる環境となりました。

こうした状況の中で当社グループは、第１四半期から引き続き、本年３月にリリースしました主力製品の最新バージョン「Wingneo INFINITY Ver.５」が備えた既存図面等成果物の効果的な利活用を可能とする新機能を通して、お客様に業務効率化の提案活動を実施してまいりました。また、高精度三次元システム(以下、ＭＭＳ)で計測し作成される、高精度三次元地図データベースを利用した自動走行支援の実現を目指した様々な実証実験に技術協力するとともに、当社独自の先行研究開発も進めてまいりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は1,058百万円（前年同期比0.1％減）、営業利益は53百万円（前年同期比24.7％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は29百万円（前年同期比41.2%減）となりました。

セグメント別においては、次の通りであります。

①測地ソリューション事業

測地ソリューション事業におきましては、公共事業請負金額が前年を下回る状況が続く厳しい市場環境の下、お客様の業務をトータルでソリューションすることを目的に、主力製品「Wingシリーズ」の最新バージョンである「Wingneo INFINITY Ver.５」を中心にライカジオシステムズ株式会社の最新計測機器にて現場作業の効率化を提案、既存図面並びに成果物の利活用を目的とした複合機等周辺機器の提案など、幅広い活動を実施してまいりました。また、当期間中に全国各地にて「アイサンフェア2015」を開催し、最新の「Wingneo INFINITY Ver.５」やＭＭＳを中心とした各種計測機器の実機展示とともに、測量・位置情報に関する各種セミナーを実施し、お客様の業務改善に向けた活動を継続して行ってまいりました。

以上の結果、測地ソリューション事業の売上高は762百万円（前年同期比2.4％減）、当セグメント利益(営業利益)は167百万円（前年同期比14.1％減）となりました。

②Ｇ空間ソリューション事業

Ｇ空間ソリューション事業におきましては、前事業年度より引き続きITS業界を中心に自動走行支援のための高精度三次元地図データベースに関する研究開発や、実証実験等を重点的に実施してまいりました。また６月には「アイサンテクノロジーITSフェア2015」を開催し、自動車メーカー及びITS関連企業に対し、各種製品の展示を行うとともに自動走行・安全運転支援に係る最新技術情報をお伝えしてまいりました。特に昨年設立した国立大学法人 名古屋大学及び当社グループを中心とした自動運転技術の公道実証実験ワーキンググループである「アーバンドライブWG」では、名古屋市内における公道での実証実験を行うなど、研究開発は順調に進捗しております。

また、高精度三次元計測機器であるＭＭＳ車両販売に関しては、本機器を用いた計測作業により収集されるデータを解析した成果物の有用性を各方面に継続的に提案し、高い評価も得ており、受注も順調に進んでおります。

更に、期初に発表しました屋内３D計測に関しても、各方面への提案活動を行ってきた結果、徐々に浸透し受注実績も上がりつつあります。一方では自動走行運転の実現に向けた高精度三次元地図情報を整備するための研究開発や計測機器への投資も積極的に進めております。

以上の結果、Ｇ空間ソリューション事業の売上高は288百万円（前年同期比10.4％増）、当セグメント利益(営業損失)は△21百万円（前年同期は５百万円の営業損失）となりました。

③その他

その他事業の売上高は６百万円（前年同期比56.1％減）、当セグメント利益(営業利益)は０百万円（前年同期は５百万円の営業損失）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて496百万円減少し、2,489百万円となりました。その主な要因は受取手形及び売掛金が337百万円減少したこと等によります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて490百万円減少し、951百万円となりました。その主な要因は支払手形及び買掛金が360百万円減少したこと等によります。

（純資産）

当第２半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて５百万円減少し、1,537百万円となりました。その主な要因は利益剰余金が６百万円減少したこと等によります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年３月期の連結業績予想につきましては、平成27年５月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成25年９月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成25年９月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第７号　平成25年９月13日）等を第１四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第２四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成27年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成27年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,084,863	920,004
受取手形及び売掛金	812,226	474,831
商品及び製品	35,830	32,960
仕掛品	67,061	3,283
その他	78,829	68,134
貸倒引当金	△4,233	△2,177
流動資産合計	2,074,577	1,497,037
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	281,131	280,075
減価償却累計額	△100,992	△100,840
建物及び構築物（純額）	180,139	179,234
土地	341,789	341,789
リース資産	65,645	122,061
減価償却累計額	△29,253	△39,796
リース資産（純額）	36,392	82,264
その他	165,692	187,411
減価償却累計額	△83,097	△103,009
その他（純額）	82,594	84,402
有形固定資産合計	640,916	687,691
無形固定資産	77,971	118,334
投資その他の資産		
投資有価証券	22,391	22,901
その他	170,191	164,189
貸倒引当金	－	△632
投資その他の資産合計	192,582	186,458
固定資産合計	911,470	992,485
資産合計	2,986,048	2,489,522

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成27年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成27年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	579,545	219,130
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	48,560	48,560
リース債務	23,095	35,245
前受金	148,138	168,842
未払法人税等	76,914	12,094
賞与引当金	46,758	26,087
その他	142,962	58,566
流動負債合計	1,085,974	588,526
固定負債		
社債	40,000	30,000
リース債務	29,583	63,203
長期借入金	145,760	121,480
退職給付に係る負債	129,581	133,696
繰延税金負債	1,741	2,236
その他	9,981	12,505
固定負債合計	356,647	363,122
負債合計	1,442,621	951,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	520,840	520,840
資本剰余金	559,863	559,863
利益剰余金	467,144	460,173
自己株式	△12,373	△12,373
株主資本合計	1,535,475	1,528,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,689	3,564
その他の包括利益累計額合計	3,689	3,564
非支配株主持分	4,262	5,805
純資産合計	1,543,427	1,537,873
負債純資産合計	2,986,048	2,489,522

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
売上高	1,058,934	1,058,111
売上原価	483,167	541,498
売上総利益	575,766	516,613
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	166,755	134,342
退職給付費用	5,410	4,976
その他	331,968	323,371
販売費及び一般管理費合計	504,134	462,690
営業利益	71,632	53,922
営業外収益		
受取利息	837	649
消費税差額	218	231
その他	642	712
営業外収益合計	1,698	1,593
営業外費用		
支払利息	3,870	2,916
その他	320	322
営業外費用合計	4,190	3,238
経常利益	69,140	52,276
特別損失		
固定資産除売却損	－	38
特別損失合計	－	38
税金等調整前四半期純利益	69,140	52,238
法人税、住民税及び事業税	18,241	7,148
法人税等調整額	－	13,661
法人税等合計	18,241	20,810
四半期純利益	50,898	31,427
非支配株主に帰属する四半期純利益	37	1,542
親会社株主に帰属する四半期純利益	50,861	29,885

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
四半期純利益	50,898	31,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,863	△124
その他の包括利益合計	1,863	△124
四半期包括利益	52,762	31,302
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,725	29,760
非支配株主に係る四半期包括利益	37	1,542

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	69,140	52,238
減価償却費	59,286	56,843
受取利息及び受取配当金	△1,120	△952
支払利息	3,870	2,916
売上債権の増減額（△は増加）	257,990	337,394
たな卸資産の増減額（△は増加）	52,823	66,648
仕入債務の増減額（△は減少）	△227,471	△360,414
未払金の増減額（△は減少）	△101,276	△5,373
賞与引当金の増減額（△は減少）	25,896	△20,671
前受金の増減額（△は減少）	47,300	20,704
その他	6,739	△63,999
小計	193,178	85,334
利息及び配当金の受取額	928	758
利息の支払額	△3,891	△2,937
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△13,383	△72,728
営業活動によるキャッシュ・フロー	176,832	10,427
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△96,190	△35,664
無形固定資産の取得による支出	△27,550	△59,432
その他	△2,164	164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125,905	△94,932
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△40,900	△24,280
短期借入金の純増減額（△は減少）	20,000	－
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△27,580	△36,680
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△14,059	△9,392
その他	△23	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,563	△80,353
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△21,636	△164,859
現金及び現金同等物の期首残高	873,845	1,004,863
現金及び現金同等物の四半期末残高	852,208	840,004

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。